

市議会報告



来年度の国民健康保険税 一人あたり3101円増の方針

福山市は、2019年度の国民健康保険税を1人平均3101円引き上げ、年額10万8856円とする方針です。概要をお知らせします。

大幅負担増、許されない！

なぜ、これほど増額されるのか

2019年度は、国保の財政運営が市町から県に移管して2年目の年です。

広島県は、市町の保険料率を統一化する全国でも数少ない自治体です。

県が2019年度の保険料収納額として福山市に示した必要額は11万2425円と、前年度比6670円もの引き上げとなる額です。

福山市は、1億9420万円余を基金から繰り入れて引き上げ幅を抑えていますが、それでも加入者にとっては大幅な負担増です。

全国では約77%が引き下げか据え置き

※全国では29%の市町村が保険料(税)率を引き下げ、48%が据え置きとする中、福山市は連続の引き上げです。

福山市の国保基金の2018年度末見込は18億5500万円です。3億円程度を活用すれば、保険料は引き上げずにすみます。

しかし市は、加入者の所得水準が低いことを認めながらも、「相互扶助が基本であり、一定の負担が必要」と冷たい姿勢です。

しかも、今後も引き上げを続け、6年間の激変緩和期間後は基金の活用すら解消すべきとしています。

公費負担を増やして加入者を守れ

加入者の大半は無職など低所得の人が占めています。引き上げが続けば、保険料を払えない人が増え、国民皆保険の根幹である国保が破たんする恐れがあります。公費負担を増やして加入者の負担を軽くするよう、

国や県に強く求めると同時に、市としてできる限りの手立てをとるべきです。

市は「国保は特別会計であり、負担の公平性を保つため、一般会計からの支援は慎重に対応したい」としています。しかし、国保の負担は「協会けんぽ」などに比べ2倍近く、赤ちゃんにも税金がかかる「均等割」という仕組みがあります。負担

の公平性というなら、この不公平を是正する必要があります。他市では子どもの均等割を無料にするなど、独自に努力しています。

運動を広げよう

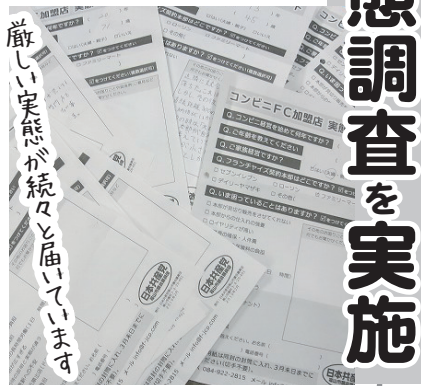
国民皆保険を支える社会保障としての国保を存続させるため、日本共産党市議団は、市長要望や議会請願など市民の運動と力をあわせて取り組みます。

コンビニ実態調査を実施

身近で便利なコンビニエンスストアですが、フランチャイズ契約を結ぶ加盟店の労働環境は過酷です。

日本共産党は、コンビニをめぐる様々な問題を国会で取り上げ、本部と加盟店の公正な取引環境の是正を目指しています。

福山市内のコンビニオーナーからも苦しい実情を訴える声が寄せられたため、党市議団として実態調査に取り組みました。



厳しい実態が続々と届いています

2月8日に全175店にアンケートを送付し、19日までに17通の返信がありました。オーナーの労働時間は「1日12〜20時間」「5年間休みなし」など、厳しい実態が記されています。アンケート結果を生かし、改善に取り組みます。

日本共産党
議員団 NEWS

発行
日本共産党福山市議会議員団
広島県福山市霞町3-4-25 401
電話・FAX 084-9222815

村井あけみ 高木たけし
土屋ともり 河村ひろ子

3月議会の日程

2月	25日	月	午前10時から
	28日	木	
3月	4日	月	
	5日	火	
	6日	水	
	7日	木	
	8日	金	
	11日	月	
	12日	火	
	13日	水	
14日	木		
15日	金		
19日	火		

本会議(会期の決定・市長総体説明)
議会運営委員会(午前9時30分)
本会議(代表質問)
本会議(一般質問)・予算特別委員会 常任委員会(総務・民生福祉・文教経済・建設水道)
予算特別委員会
議会運営委員会・本会議(午後1時)

日本共産党市議団の代表質問は3月6日、一般質問は7日の予定です。